

回覧

芹沢 銑介

旅する染色家

A Day at Mashiko:
Serizawa Keisuke, Traveling Dye Artist

開館30周年記念

益子曰帰り

晴



2023年10月22日 | 日 | — 2024年1月8日 | 月・祝 |

開館時間 | 10月：9:30~17:00、11月~1月：9:30~16:00 (入館は閉館30分前まで)
休館日 | 月曜日(祝休日の場合は翌日)、秋の陶器市につき11月6日(月)開館、11月7日(火)休館
入館料 | 大人600円(550円)、小中学生300円(250円) ※()内は20名以上の団体/65歳以上300円(要証明)
主催 | 益子町文化のまちづくり実行委員会、益子陶芸美術館
後援 | 下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送、エフエム栃木、真岡新聞社、NHK宇都宮放送局
協力 | 公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

*今後の状況により、展覧会予定に変更が生じる場合がございます。最新情報は、当館ホームページ・Facebook・Twitter・Instagram等でご確認ください。

Mashiko Museum of Ceramic Art
益子陶芸美術館

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021 TEL: 0285-72-7555
<http://www.mashiko-museum.jp>

芹沢銑介 絵本『益子曰帰り』1943年 拍賣蔵

民藝運動の染色家として知られる芹沢銈介(1895~1984)は旅を好み、生涯にわたって日本各地や世界各地をめぐりました。芹沢の作品には、各地を旅することで目にした手仕事の現場の光景や、そこで作られた民芸品などが数多く表されています。特に1939年の沖縄滞在以降、沖縄をモチーフとした名作を次々に生み出し、明るくおらかな作風へと転換しています。芹沢は益子にも訪れ、窯場など町の様子を描いた『益子日帰り』という絵本を制作しました。本展では「旅」をテーマに、芹沢が旅先で出会った景色や文物に取材した作品を紹介いたします。本展では「旅」をテーマに、また1976年、フランス政府からの招聘により国立グラン・パレ美術館にて「Suzawa」展が開かれました。この展覧会は好評を博し、芹沢はのちにフランス芸術文化勲章を受章しています。本展ではこの「Suzawa」展で紹介された、フランスを旅した作品をあわせて紹介いたします。芹沢銈介の旅へ、さあ出かけましょう！



②



③



①



⑧



⑦



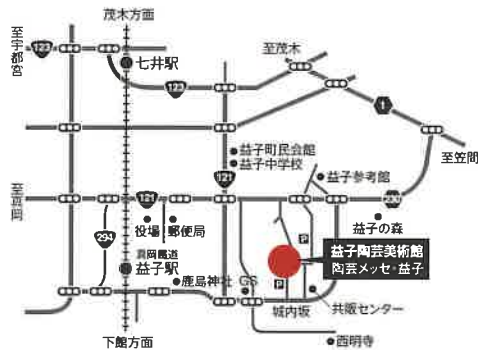
⑥



⑤



④



【バス】東武宇都宮駅(西口1番バス乗り場)、JR宇都宮駅(西口14番バス乗り場)から関東バス益子行、または秋葉原駅から茨城交通高速バス「関東やきものライナー」笠間・益子行で陶芸メッセ入口下車徒歩約2分。
 【鉄道】JR小山駅から水戸線下館駅下車、下館駅から真岡鐵道で益子駅下車徒歩約25分。
 【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道桜川筑西ICから約20分/東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道真岡ICから約25分。
 ※運行状況は各交通機関にご確認ください。

Mashiko Museum of Ceramic Art 益子陶芸美術館

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021
 TEL: 0285-72-7555
<http://www.mashiko-museum.jp>



同時開催

■2023年10月22日(日)~2024年1月8日(月・祝) 当館2階展示室
 スポットライト
 生誕120年記念
棟方志功と京都十二段家 (要入館券)

■2023年7月15日(土)~11月6日(月) 当館第3展示室
 益子国際工芸交流事業2022
益子とリーチ工房 次の100年へ
榎田智+岩下宗晶+ルロフ・ウィス展 (入場無料)

次回企画展

開館30周年記念

ジュリアン・ステアと加守田章二 —“うつわ”の必然性—
 2024年1月20日(土)~4月7日(日)



⑨



⑩